

会 議 録

令和 7年3月10日 (月)	施設長	相談員	医務	フロア長	作成者
令和6年度 第6回 むらかみの郷運営推進会議					鈴木

出席職員	八千代市介護相談員中山、清水氏 弓削田民生委員 村上地域包括支援センター山田センター長、松原施設長 鈴木
鈴木	○運営報告 (別紙添付) 利用者概要、待機者、事故発生状況、今後の予定、その他の報告。
山田	○運営報告について質疑応答、ご意見 1月のおせち料理やむらかみの郷神社への初詣がとても良い取り組みだと思います。
松原	○地域交流スペース活用状況 (別紙添付) 感染予防対策、地域交流スペースや地域貢献の報告。
山田	○地域交流スペース等について質疑応答、ご意見 村上包括で集いの場を目的とし担い手養成講座年4回を行っており、認知症カフェの開催につなげたいと考えています。現在、オレンジハウスでほっこり集いを行っているが認知症にかかわらず様々な方の集いがあるので、中央商店街内で集える場所があるととても助かります。
弓削田	オレンジハウスまでは足が遠い方もいて、場所を変えた集いの場を求めている声も聞いています。
松原	地域交流スペースの開放について前向きに検討していきます。
中山	○その他質疑応答、ご意見 巡回させていただき入居者のんびり生活できている様子がうかがえました。午後に入浴があっても昼食後に休む時間を設けるなど入居者主体の対応をされているのを感じました。
清水	むらかみの郷神社は本格的に作成されていて、昔からの風習を続けられる環境が施設でも継続できるのは素晴らしいことですね。 運営推進会議参加者より概ね適切な運営をしている評価を頂く。
	次回 令和7年度第1回 むらかみの郷運営推進会議 令和7年5月12日 (月) 13:30～
	以上

2019/02/01 改訂

運営推進会議 運営報告

社会福祉法人 清明会
特別養護老人ホーム むらかみの郷
(令和7年3月10日)



利用者概要（令和7年1月31日現在） 【定員】 29名

（在籍数）

男性 4名 女性 24名 合計 28名

（入退所）

退所 0名 入所 2名（令和6年12月～令和7年1月）

（平均介護度）

男性 4.4 女性 4.5 全体平均 4.5

（平均年齢）

男性 76.3歳 女性 89.0歳 全体平均 87.0歳

入所申し込み状況（令和7年1月31日現在）

（待機者） 25名

（平均介護度） 3.9

（平均年齢） 76.8歳

稼働状況（令和7年1月31日現在）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
稼働率	98.5%	94.4%	93.8%	86.5%	81.2%	84.3%	84.6%	89.4%	95.2%	96.6%			90.5%

事故発生状況（令和7年1月31日現在）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒等	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0			3
外傷	1	0	1	3	0	0	0	0	3	1			9
薬剤管理	2	1	3	0	2	3	2	3	3	1			20
その他	3	1	0	1	2	1	0	0	0	2			10



クリスマス会



おせち料理



むらかみの郷神社へ初詣①



むらかみの郷神社へ初詣②

施設内行事について

- ・ 12月1月は各フロアにて、ご入居者様に季節を感じて頂ける行事を開催しました。
クリスマス会ではサンタクロースに扮装した職員と一緒に楽しい時間を過ごしました。いつもと違ったおやつ（ケーキ）も好評でした。
お正月はおせち料理を楽しんだ後、施設内に設置した「むらかみの郷神社」に初詣に出掛けました。お賽銭を入れ、絵馬を飾り、手を合わせて、今年の願いごとを祈念しました。

新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ等対策について

令和6年5月に入居者3名、職員2名の新型コロナウイルス感染症陽性者が発生しましたが、以降発生しておりません。

(ワクチン接種)

施設入居者及び職員に対して、インフルエンザワクチン接種の積極的な接種を実施しています。一方で新型コロナウイルス感染症ワクチン接種については、感染対策上の必要性に加え、経済的・社会的合理性や持続可能性の観点も考慮し「ご本人及びご家族の判断にお任せする」事としましたが、多くの入居者が接種を希望する結果となりました。

(制限緩和への道筋)

- (1) 地域交流～外部ボランティアの受け入れや地域行事の参加を推進します。
- (2) 居室面会～市中感染状況を勘案の上、慎重に検討して参ります。12月より実施を検討しましたが、インフルエンザの流行や近隣施設のコロナ感染者増を受け、一旦見送りとしました。

今後の課題

1. 事業運営の更なる安定化

→介護職員不足については現在解消済みです。

→稼働率低下については改善傾向にあります。

2. 気軽に地域住民が立ち寄れる場所の提供に繋がる地域交流スペースの活用方法の検討。

(ボランティア主体のカフェや「話し場」の運営)

→地域交流スペースの解放が決定次第、立案・検討して参ります。

3. 自然災害や感染症への備えについて。

→事業継続計画（BCP）の見直し完了。

今後とも、ご指導ご鞭撻の程、お願い申し上げます。